



概要

倶知安町は、中心部に市街地があるほか、郊外部に集落が点在する構造となっており、郊外部においては公共交通空白地域が見られ、特に高齢者等の生活交通の確保が課題となっている。このため、公共交通空白地域の解消を目指し、乗合タクシーの導入、スクールバスへの一般住民の混乗等の調査検討を実施する。

地域公共交通の現況

- ・JR函館本線(倶知安駅、比羅夫駅)
- ・ニセコバス(株)(3路線)
- ・道南バス(株)(5路線)
- ・スクールバス(8本)
- ・その他、老人福祉・障害者ハイヤー(バス)利用助成制度

地域公共交通の課題

- ・郊外部に公共交通空白地域が存在
- ・高齢者等の生活交通の確保
- ・スクールバス等の有効活用

調査の主な内容

- ・現況交通実態調査
- ・利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)
- ・乗合タクシーの試験運行

策定する地域公共交通総合連携計画の構想(予定)

- ・公共交通空白地域における乗合タクシーの導入検討
- ・スクールバスへの一般住民の混乗の検討



倶知安町地域公共交通活性化協議会 調査事業の取組状況

主な調査の実施内容

協議会開催状況

3回開催

分科会等開催状況

-

左記開催状況は H21.1.30現在

現況交通実態調査

・各種統計資料による人口、公共交通現況調査及びスクールバス・福祉ハイヤーの運行・利用状況、路線バスの乗降調査を実施。(H20.5~10月)

利用者ニーズ把握調査(アンケート調査)

・平成19年度ニセコ地域アンケート結果を基に移動ニーズ調査、町内主要事業所(10カ所)に公共交通へのニーズ、課題把握のためのヒアリング調査を実施。(ヒアリング調査 H20.10.15~16日)

乗合タクシーの事例調査

・夏季、冬期の各数日間の実証運行予定を変更し、帯広市、伊達市での乗合タクシー体験調査及び事業化方策の検討を実施。

その他の調査等

・小型乗合公共交通の導入、スクール混乗について、バス・ハイヤー事業者との意見交換を実施。(H20.6月、12月、H21.1月)

・町民と協議会委員等による連携計画素案についての意見交換会を実施。(H20.2.2、町民9名、協議会委員等19名が参加)

予定している連携計画の内容

町内中心部における小型乗合交通の導入(実施主体:倶知安町・住民参加型運営主体[H22以降]、実施時期:H21~)

・町内中心部での輸送サービスを確保するため、小型乗合交通の導入に向けた実証運行をH21~23で段階的に実施。

スクールバスへの混乗方式の導入(実施主体:倶知安町教育委員会・スクールバス事業運行受託者、実施時期:H21~)

・生活交通が必要な郊外部地域において、スクールバス一般混乗運行を実施。

福祉ハイヤー・バス制度の再構築(実施主体:倶知安町・美空ハイヤー・倶知安ハイヤー・道南バス・ニセコバス、実施時期:H21~)

・町民との意見交換を重ねながら、小型乗合交通を導入する地区等において、既存の福祉ハイヤー・バス制度の再構築を図る。

自己評価のポイント

乗降調査、ヒアリング調査等により必要な調査を行うとともに、法定協議会において町民との意見交換会等も行いながら合意形成を図っている。

二次評価のポイント

自己評価のとおり。